

適用病害虫の範囲及び使用方法

令和4年1月26日現在

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントリアゾールを含む農薬の総使用回数
キャベツ	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ネキリムシ類 カブラハバチ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理は 3回以内)
	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ウリハダ類	500倍	苗地床 1m ² 当り2L				
	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ウリハダ類 オオタバコガ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	
		20倍	1～2L/10a			無人航 空機に よる 散布	
はくさい	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハイマダラノメイガ カブラハバチ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	
	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ カブラハバチ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	
		20倍	1～2L/10a			無人航 空機に よる 散布	
かぶ							3回以内
非結球あぶらな 科葉菜類 (タアサイ、ひろ しまな、なばな 類を除く)	コナガ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
タアサイ	オオタバコガ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	3回以内 (灌注は1回以内、 散布は2回以内)
ひろしまな	ハスモンヨトウ	100倍					
	コナガ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	

(つづき)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントネリプロール を含む農薬の 総使用回数
なばな類	アオムシ ハモンヨトウ コガ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
	アオムシ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	
アマランサス (茎葉)	シオビノメイガ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	3回以内
だいこん	コガ アオムシ ヨウムシ						
はつかだいこん	ハイマダラノメイガ カブラハバチ ハモグリハエ類						
カリフラワー	コガ アオムシ ハモンヨトウ	2000倍	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
ブロッコリー		コガ アオムシ ハモンヨトウ ハイマダラノメイガ					20倍
茎ブロッコリー	ハモンヨトウ	2000倍	100～300L/10a	育苗期後半 ～定植当日	1回	散布	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
		100倍	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り0.5L			灌注	

(つづき)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クラントリアプロール を含む農薬の 総使用回数
レタス	ヨウムシ ハスモンヨトリ オタハコガ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理は 3回以内)
	ハメグリバエ類	20倍	1～2L/10a			無人航 空機に よる 散布	
		1000～ 2000倍	100～300L/10a			散布	
非結球レタス	ヨウムシ ハスモンヨトリ オタハコガ ハメグリバエ類 ネリムシ類 ヒメフタテンヨコハライ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
	ヨウムシ ハスモンヨトリ オタハコガ ハメグリバエ類	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	
トマト	ハメグリバエ類	1000～ 2000倍		1株当り25mL	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注
	オタハコガ	2000倍					
ミニトマト	ハメグリバエ類	100倍	1株当り25mL	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
	ハメグリバエ類	200倍	1株当り50mL				
	コナジラミ類	100倍	1株当り25mL				
	コナジラミ類	200倍	1株当り50mL				
なす	ハスモンヨトリ ハメグリバエ類 ネリムシ類	100倍	1株当り25mL	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	3回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は2回以内)
	ハメグリバエ類	200倍	1株当り50mL	収穫前日 まで	2回以内	散布	
		1000～ 2000倍	100～300L/10a				
とうがらし類	ハスモンヨトリ オタハコガ	2000倍		1株当り25mL	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注
	コナジラミ類	1000～ 2000倍					
ピーマン	ハスモンヨトリ オタハコガ	1000～ 2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	3回以内 (灌注は1回以内、 散布は2回以内)
	ハスモンヨトリ コナジラミ類	100倍	1株当り25mL	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	

(つづき)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クワアクトニール を含む農薬の 総使用回数
きゅうり	ハモグリハエ類	100～ 200倍	1株当たり 25mL	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
		200倍	1株当たり 50mL				
	1000～ 2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布		
	ウリノメイガ					2000倍	
ズッキーニ	ハモグリハエ類	1000倍	100～300L/10a	収穫7日前 まで	1回	2回以内 (灌注は1回以内、 散布は1回以内)	
メロン すいか	オオタバコガ ハモグリハエ類	2000倍					
とうがん にがうり	ハスモンヨトウ		2000倍	100～300L/10a	収穫3日前 まで	3回以内	無人航 空機に よる 散布
いちご	ヨウムシ						
せり科葉菜類 (パセリを 除く)	ヨウムシ	2000倍	100～300L/10a	収穫7日前 まで	1回	2回以内 (灌注は1回以内、 散布は1回以内)	
パセリ	ヨウムシ ハスモンヨトウ						
らっきょう	ハモグリハエ類	20倍	1～2L/10a	収穫3日前 まで	3回以内	無人航 空機に よる 散布	
ねぎ	シロイモシヨトウ ネギコガ ハモグリハエ類						
	ねぎ	ハモグリハエ類	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り 0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注
豆類(種実、 ただし、 だいず、 あずき、 らっかせいを 除く)	ハスモンヨトウ	4000倍	100～300L/10a	収穫7日前 まで	2回以内	散布	2回以内
だいず	オオタバコガ ハスモンヨトウ マメシクガ ウコンノメイガ	16～ 32倍	0.8L/10a				
あずき	ハスモンヨトウ アズキノメイガ	4000倍	100～300L/10a	収穫3日前 まで	3回以内	無人航 空機に よる 散布	3回以内
えだまめ	オオタバコガ ハスモンヨトウ マメシクガ ウコンノメイガ	16～ 32倍	0.8L/10a				

(つづき)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クワントアネリプ ロール を含む農薬の 総使用回数				
未成熟ささげ	ハスモンヨトウ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内				
未成熟 そらまめ	ハメグリバエ類	1000～ 2000倍									
さやいんげん 実えんどう さやえんどう	ハスモンヨトウ ハメグリバエ類	2000倍									
やまのいも	ハスモンヨトウ ナガイモガ	20倍	1～2L/10a			無人航空 機による 散布					
かんしょ	ハスモンヨトウ	2000～ 4000倍	100～300L/10a			無人航空 機による 散布					
		16倍	0.8～1.6L/10a								
	ナジロシタバ	4000倍	100～300L/10a			散布					
さといも	ハスモンヨトウ	2000倍	100～300L/10a			無人航空 機による 散布					
		20倍						1～2L/10a			
アスパラガス	ハスモンヨトウ シオビノメイガ	2000倍	100～300L/10a					散布	2回以内		
ほうれんそう											
モロヘイヤ エンサイ	ハスモンヨトウ			2回以内	2回以内						
つるむらさき、 しそ科葉菜類 (えごま(葉) を除く)						3回以内					
えごま(葉)、 ふき				収穫3日前 まで							
ふき (ふきのとう)	収穫120 日前まで			2回以内		2回以内					
クレソン (土耕栽培)	コナガ			収穫3日前 まで		3回以内	3回以内				
ごま	オオハコガ			収穫14日 前まで		2回以内	2回以内				
とうもろこし	アリノメイガ オオハコガ ツマジロクサヨトウ			20倍		1～2L/10a	収穫前日 まで			無人航空 機による 散布	3回以内
しょうが	ハスモンヨトウ			2000倍		100～300L/10a					
オクラ	オオハコガ ハスモンヨトウ										
たばこ	ヨトウムシ	100～180L/10a	収穫10日 前まで			2回以内	2回以内				
とうき	キアゲハ	100～300L/10a	発生初期	4回以内	4回以内						

[プレバソン®フロアブル5のページに戻る](#)

【成分】 クロラントラニリプロール（通称：リナキシピル） 5.0%
水、界面活性剤等 95.0%

【性状】 淡褐色水和性粘稠懸濁液体

殺虫剤分類

28

効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節してください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
 - ① 散布は散布機種種の散布基準に従って実施してください。
 - ② 散布に当っては散布機種種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
- 過度の連用を避け、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用してください。
- つまみ菜、間引き菜には使用しないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 本剤は皮ふに対して弱い刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 使用の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮ふに付着しないよう注意してください。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

- ラベルをよく読んでください。
- 記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届くところには置かないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。